



日刊労千葉

国鉄千葉労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(労働組合館)

(鉄道) 千葉 2935・2936番

(公) 千葉 (22) 7207番

91.9.3 No. 3457

アジア侵略にむけたPKO派兵阻止 9-10月反戦闘争を全力で闘おう

自衛隊の海外派兵に反対し、二度と侵略戦争を許さない共同行動委員会（略称・反戦共同行動委員会）主催によるPKO派兵・小選挙区制粉碎全国総決起集会が、九月一日正午から、東京・渋谷宮下公園において全国から一八〇〇名の結集で開催された。

集会では、現在開会中の臨時国会のなかで、自衛隊の海外派兵法案であるPKO法案の上程阻止、自民党の独裁と改憲・徵兵制に道を開く小選挙区制導入阻止にむけて、九月一日を全力で闘おうことが訴えられるとともに、より広範な労働者をはじめとした人々が反戦闘争にたちあがるため全力で闘うことが確認された。

集会は、佐藤芳夫反戦共同行動委代表委員（全労組交流センター代表）

の主催者あいさつで始まり、基調報告に小西誠代表委員（反戦自衛官）が立った。小西氏は「いよいよ闘いは本番、カンボジア・アジアにむけて本格的な派兵が始まろうとしている。韓国でもPKO反対のデモが闘われている。再び侵略戦争は許してはならない。これから闘いが重要になっていく。九月一日全力で闘おう」と力強く訴えた。

つづいて、反戦自衛官、在日外国人の人権を守る会代表林歳徳氏、三里塚北原事務局長、沖縄労組交流センター準備会が、それぞれ特別報告を行い、さらに神奈川労組交流センターが米空母インディペンデンス横須賀母港化阻止闘争にむけた特別アピールを発した。

決意表明では、動労千葉・国労闘争団、全連四



者をはじめ、全国一六団体から力強い闘いの決意を受けた。その後、防衛庁長官・陸上自衛隊当局による障害者差別・部落差別発言を徹底糾弾する糾弾闘争宣言と集会宣言を採択し、最後に中野委員長による九月一日闘争方針提起をうけて集会は終了した。

そして集会後ただちに、

渋谷市街のデモ行進に出発、休日の午後若い人のあふれる渋谷のビルの谷間を戦争反対・PKO阻止の声がこだまし、圧倒的な注目をあびる中で、デモを整然とうちぬいた。

九月に入り、国会情勢も正念場を迎えるようとしている。アジア侵略戦争反対の声をもっと大きく拡げ、労働者の決起にむけて更に全力で闘おう。

法案粉碎・派兵阻止を力強く訴え首都東京を席巻した共同行動委！

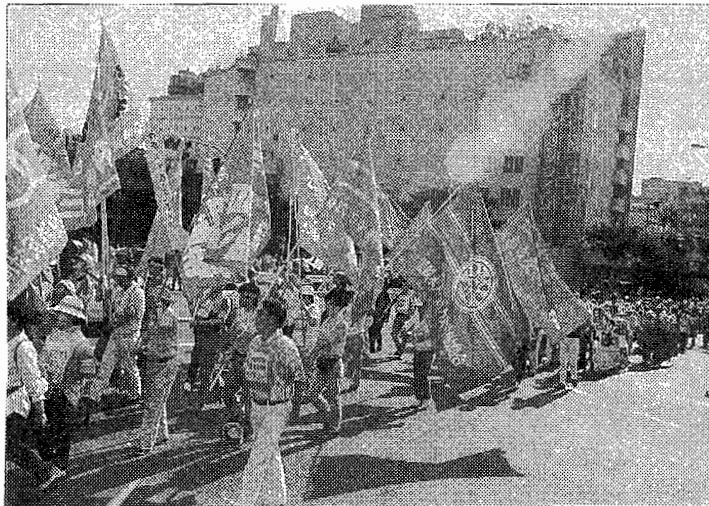
9.8

講演 岩井 章氏（元総評事務局長）

○とき 9月8日 13時～
○ところ 東京・南部労政会館
(京浜東北線大井駅下車・徒歩10分)
○集合 千葉駅発(3番線)
11時25分発・快速最後部



根こそぎ全力！
最大限で結集しよう
思いっきりの参加を



反合・運転保安確立！ 反戦・反核を担う労働運動を！